

1. 件名「泊発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（1号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（12）」

2. 日時：平成31年2月14日 16時00分～18時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ実用炉審査部門

塚部管理官補佐

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

池田上席技術研究調査官、河野主任技術研究調査官、橋倉技術研究調査官、皆川技術研究調査官

地震・津波研究部門

日高技術研究調査官、東技術研究調査官、鈴木技術参与、澁谷技術参与、土居技術参与

北海道電力株式会社

泊発電所 原子力事業統括部 原子力設備グループリーダー ほか17名

5. 要旨

(1) 北海道電力泊1号炉の高経年化技術評価について

○北海道電力から高経年化技術評価の概要、共通事項及び耐震安全性評価の内容について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、以下のとおりコメントを行った。

【高経年化技術評価の概要】

－冷温停止状態での評価と断続運転の評価の違いに係るプロセスを明確にすること

【耐震安全性評価】

－基礎ボルトの全面腐食に対する評価の考え方を整理し記載すること

○北海道電力から、了解した旨回答があった。

6. 資料

(1) 「提出資料リスト」

(2) 「泊発電所1号炉 高経年化技術評価（30年目）の概要」

(3)「泊発電所 1 号炉 高経年化技術評価（共通事項） 補足説明資料」

(4)「泊発電所 1 号炉 高経年化技術評価（耐震安全性評価） 補足説明資料」